

授業科目名	ITリテラシー2B(表計算と情報倫理)		
担当者名	藤田 智子(実務家教員) * 全 14 回授業を担当		
開講年度学期	2018年度 後期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	表計算ソフトウェアの実践的な実習を中心に <b>情報活用力</b> を中心に学習する。また、情報倫理についても学習する。		
授業の到達目標 及びテーマ	MOS 一般や上級(対象:Excel 2013 or 2016) に合格できる力を養う。 必要な情報を調べて使うことができるようになる。情報倫理を理解する。		
授業計画	1. ガイダンス		
	2. 数式と関数・絶対参照・相対参照・複合参照 / いろいろなグラフの作成 到達目標:Excelの基本的な考え方/目的に合わせたグラフの活用		
	3. 外部データの取り込み・クロス集計 到達目標:ピックデータにおけるクロス集計の活用		
	4. 関数1 到達目標:代表的な関数の理解		
	5. 関数2 到達目標:統計関数の理解		
	6. 関数3 到達目標:ビジネス関数の理解		
	7. 関数4 / 情報倫理注意点 到達目標:文字列関数の理解		
	8. 複合関数1 到達目標:文字列関数の組み合わせ		
	9. 複合関数2 到達目標:論理関数とビジネス関数の組み合わせ		
	10. 文字列・日付・時刻関数 到達目標:日付時刻と文字列の違い、日付時刻関数の理解		
	11. 総合演習 到達目標:いろいろ関数を自分で考えて利用する		
	12. 総合演習 到達目標:いろいろ関数を自分で考えて利用する		
	13. Excel 実技試験1		
	14. Excel 実技試験2		
成績評価の方法	実技試験及び課題、倫理試験で総合的にリカレントの評価基準に従い判断する。 ただし上記評価結果が不合格の場合、以下の条件に従い、別途評価基準を設ける。 条件1. 第8回の授業までに MOSを受験し、仮に不合格であっても受験した結果表を提出すること。 条件2. 条件1で不合格であった場合は、第 14 回の講義終了までに MOS 合格の結果表を提出すること。		
使用テキスト	授業時に指示します。		
参考書 (参考資料等)	授業時に紹介します。		
その他 (受講生への要望 など)	実際の業務で使うノウハウは MOS の試験勉強だけではカバーできない事が多いので授業でノウハウを 習得しましょう。また、是非、MOS 上級も受験しましょう。 授業進度は、受講生の理解状況により変更する場合があります。		